

2022年(令和4年)

第39号

(11月1日)

平安だより

HEIAN letter

発行所：立正佼成会 京都教会
 発行責任者：渉外部長 田中規之
 編集委員長：渉外広報 植田恭司
 〒605-0041 京都市東山区三条東町 230
 TEL (075)762-2211 FAX (075)762-2266

今月のことば ～みんなの幸せを願う心ー智慧②～ 中央支部支部長 林 希依

日々ありがとうございます。11月の言葉を担当させていただきます、中央支部の林です。宜しくお願いします。

今年も11月になりました。どんな1年だっただろうと思う時、会長先生の年頭法話を思い出してみました。タイトルは「生き生きとした人生を」でした。コロナによって私たちの生活は大きく変わりました。何とか何とか会員さんとつながる努力を、私も含め皆さんが一生懸命されてきた1年だったのではないのでしょうか…。そんな毎日の指針となるよう生き生きとした人生を送れるように、毎月会長先生から六波羅蜜を教えて頂いてきました。

今月は「みんなの幸せを願う心ー智慧②」です。『みんなの幸せを願う心』を見て、私はある会員さんのことを思わずにはいられませんでした。

御歳83歳、長年主任のお役をされ、厳しい修行にもくらくらいついて人さまの為に尽力されてきました。コロナが始まった頃には、外にも行けず教会にも行けず、人にも会えない日々で、朝夕のご供養が心の支えだったとおっしゃいます。コロナも2年も続くと体力も落ちてきたり、買い物は、娘さんがして下さようになると、元気に動いていた自分と出来なくなってしまっている、今の自分と比べてみたりと落ち込むことも何度もありました。

しかし、ここがすごいポイントなんです、「このままではいけない」と写経したり、仏画を描いたり、ピアノを弾いたり、絵を描いてみたりと出来ることを少

しずつ始めながら、気持ちを奮い立たせていらっやいました。

そんな中、その方が眠れない日々が続き、病院を訪ねたら「年とったら眠れない日もありますよ。眠れる時に眠たらいいんですよ」と言われて年寄り扱いを受けて『あーっ、私は年寄りなんだと自覚したわ』とおっしゃったのです。すごい！私が83歳になった時そんな風に思えるだろうかと思いました。その後、年相応に おとなしくしてるわ…とおっしゃるので、そこで私は、とてもステキな絵を書かれる方なので、支部の方にバースデーカードを送りたいので書いて頂けませるか？とお願いしました。すると、2つ返事で書かせてもらいますよ、と言って下さりました。季節に合わせて、いろんな絵を書いて下さるようになりました。このエネルギーがすごい！すばらしいと思います。

年を重ねて出来なくなったことをさみしく話される時もありますが、六波羅蜜の教えのごとく、心をコントロールされ今の自分に出来ることをさせてもらおうとする心、やっぱり人さまの喜ぶ顔がみたい、喜ばせたい、みんなの幸せを願う心なんだと、改めて思わせて頂きました。

慈悲の心がわきあがってくるとはこういうことなんだと、この会員さんの姿を通して感じさせていただきます。ご法の縁に出会えたお陰さまで多くの先輩方の姿を見させて頂き、私も生き生きとした人生を送りたいと思いました。そして多くの方にご法を明るく優しく、温かくわかりやすく伝えていける私になります。 合掌

あなたのお仕事を教えて下さい ～洛叡支部 三浦啓二郎さん～

Q：仕事先はどちらですか。

A：京都市南部の淀工業団地内

Q：どのような仕事内容ですか。

A：島津製作所の協力会社として50年近く金属加工の仕事をしてもらっています。多くの協力会社の中で当社の特徴を生かすために短納期・小ロット製品の製作納品をさせてもらっています。特に

多ロット製品でも量産前の試作品は重要です。

工作機械の高精度化、多機能の進む中でも試作品は手作業、手作りで行うことが多く熟練の技が重要です。

Q：仕事中心に心掛けていることがあれば教えて下さい。

A：今の私の仕事は若い人に技術の継承を行うことで当社の発展に少しでも貢献できればと心掛けています。

令和4年、私たちは「どこでも道場 祈り祈られ 笑顔と涙によりそおう」を実践して参ります。

京都教会のホームページが出来ました。 <https://rkk-kyoto.jp/>